

年次更新 2022

# Visaトークン サービスの勢い

Visaトークンサービスは、16桁のVisaのアカウント番号を、  
Visaだけがロック解除できるトークンに置き換えるセキュリティ技術で、  
根幹となるアカウント情報を保護。

トークン化は、カードを提示しないCNPデジタル取引だけでなく、タッチ決済やQRコードを介したカードを提示する物理的取引においても、不正行為に対抗するのに役立ちます。トークン化することで、セキュリティの強化に加え、Visaカードの紛失、盗難、有効期限切れなどの場合にも、カード会員が手動で更新することなく、金融機関が有効期限切れや危険化した決済認証情報を更新できるようになり、決済プロセスのフリクションを減らすことができます。



数字で見る

4B+

トークンの発行件数<sup>1</sup>

8,500

トークン化に対応している  
カード発行会社数<sup>2</sup>

3%

カード認証率の  
向上<sup>3</sup>

189

トークン化を  
導入した市場<sup>2</sup>

28%

不正行為の削減率(\$PV)  
Visaトークン取引 vs PANベースの  
オンライン決済<sup>4</sup>

1.2M+

Visaトークンで  
取引を行っている  
eコマース加盟店<sup>5</sup>

\*1. VisaNetデータ(2014年10月~2022年7月)

\*2. VisaNetデータ(2022年7月、グローバル)

\*3. 2022年1月~3月VisaNetデータ。トークン化された認証情報とトークン化されていない認証情報との比較(VisaのクレジットカードおよびデビットカードによるグローバルなCNP取引に関して)。認証率は、最初の認証試行のみに基づいて、ユニーク・取引認証の承認回数をユニーク認証試行回数合計で割ったものと定義(グローバル平均)。

\*4. 米国Visa社、2021年第4四半期決算説明会

\*5. 世界のVisaNetデータおよびNSPKデータ(ロシア)。世界の加盟店に関しては2020年1月~2020年12月のVisaNetデータ、TC05データ、UC01データに基づく。ブランドはVisa(処理ミスを利用拒否分は除く)。拒否分は総承認件数(決済件数)に対するパーセンテージで計算。デジタル・ウォレットのトークン請求者を持つ一部のトークン参加加盟店(PANおよびトークン)。発行地域:米国(2018年7月~9月)、トークンでの対応可能性。

注:これらの指標において、「スーパー・リージョナル」にはVisa PVによるカード発行会社の上位4分の1、「リージョナル」には第2四分位のカード発行会社、「コミュニティ・バンク」には残りすべてのカード発行会社が含まれる。

# Visaトークンサービスの ポートフォリオ強化のため、Visaが提供する 追加のソリューションとサービス



## Visaクラウド・トークン・フレームワーク

顧客のデバイス全体のセキュリティとカード発行会社の信頼性を強化することで、決済承認率を高めるように設計されています。複数の認証要素とデバイス・インテリジェンスを使用して、支払認証情報を顧客とその信頼できるデバイスの両方にひも付け、アカウント乗っ取り詐欺を最小限に抑えます。



## Visaカード登録ハブ(VCEH)

お気に入りのサブスクリプションや小売店などに直接顧客を登録する簡単な方法を提供します。VCEHは、VisaトークンをCoF加盟店、ウォレット、Click to Payに直接プッシュすることで、消費者を取り込み、継続支払を生み出す、他に類を見ない強力な方法です。



## ペイメント・アカウント・レファレンス(PAR)

PANと、その関連するトークン取引を紐づけ、カード会員の支出の全体像を把握します。PAR照会により、ロイヤリティやクーポン発行などの付加価値サービスと決済処理が、決済手段や決済チャネルを問わずシームレスに提供できるようになります。



## カード・オン・ファイル(CoF)データAPI

カード発行会社に対して、どの加盟店やサービスプロバイダがカード会員の本人認証情報を保存しているかを可視化します。このインサイトにより、カード発行会社はより充実した顧客体験を提供でき、顧客はVisaカードを追加、表示、管理できるようになります。



## VISAカード・エンリッチメント・サービス

トークンのプロビジョニング中にカードの有効期限を更新します(CoFトークンまたはECTトークンの場合)。これは、ライフサイクル管理の関連コストを削減し、誤った利用拒否を最小限に抑え、より多くの取引を処理するのに役立ちます。

## パートナーの声



「ネットワークトークンはeコマースの未来であり、フリクションレスで安全なデジタル決済を可能にすることで、ネットワークトークンは認証率を大幅に向上させてきました。Adyenで最近注力しているのは、加盟店全体でトークンを自動利用できるようにすることで、トークンのパフォーマンスを向上させることに継続して努力すること、そして3DSや3DS 2.xの相互運用性といった段階的なユースケースを通じてエコシステムの導入に取り組むことです。」

— Adyen最高執行責任者、Kamran Zaki氏



「トークン化はユニファイド・コマースに対する消費者の期待の高まりに対応し、卓越したデジタル体験を実現するための重要な柱です。消費者は自分たちが接触するあらゆるチャネルで矛盾なく認識されることを期待しています。統合されたトークン化戦略は、チャネルを統合し、魅力的な消費者体験を提供する鍵となります。」

— Cybersource製品責任担当シニア・バイス・プレジデント、Andre Machicao氏



「CoFのユースケースのコンバージョン率以外にも、PayPalウォレットの初期結果では、カード発行会社による決済拒否率が約100bps低下しており、加盟店のコンバージョン率向上に繋がっています。」

— PayPalオムニペイメント担当上級副社長、Jim Magats氏

### 詳細はこちら

さらに詳しい情報については、[Visaトークンサービスのウェブサイトをご覧ください。](#)